

保護者の皆様へ

丹波篠山市立篠山東中学校  
校長 溝端 洋美

学校評価に係わる「教育アンケート(前期)」のお礼と結果のお知らせ

日毎に秋の深まりを感じる今日この頃ですが、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。平素は本校教育に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。  
さて、このたびお世話になりました「教育アンケート(前期)」では、お忙しい中ご回答いただきありがとうございました。遅くなりましたが、その結果についてご報告させていただきます。数値はあくまでも全校生や全保護者の平均値ですので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。  
なお、皆様からいただきました貴重なご意見を参考にさせていただきながら、今後の教育活動に取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。  
※表の中の「生徒」は全校生を意味し、「保護者」は全校生の保護者(アンケートにご協力していただいた保護者)を意味します。また「指数順位」とは平均指数全体の中での順位を高いものから順にあらわしています。

令和元年度丹波篠山市立篠山東中学校「学校評価」まとめ(前期)

分野①「確かな学力」

対象	分野	質問内容	前々回 (昨年度前期)		前回 (昨年度後期)		(令和元年度前期)								
			指数 順位	平均 指数	指数 順位	平均 指数	指数 順位	平均 指数	% (4)		あてはまる あてはまらない	% (2)		% (1)	あなた は ま い
									あてはまる			あてはまらない			
									よく	少し	あまり	まったく			
生徒	「確かな学力」	授業は工夫されており、分かりやすい。	7	3.42	9	3.43	11	3.40	42.3%	55.7%	97.9%	2.1%	0.0%	2.1%	
		ペア学習やグループ学習の話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている。	12	3.34	7	3.46	7	3.51	58.8%	34.0%	92.8%	7.2%	0.0%	3.2%	
		授業の最初に「めあて」が示され、最後には「ふりかえり」がされている。	16	3.12	15	3.08	15	3.07	29.9%	48.5%	78.4%	21.6%	0.0%	11.6%	
		平日(月～金)において、学校が目指している各学年の時間(1年生1時間45分以上、2年生2時間以上、3年生2時間15分以上)、家庭学習をしている。※塾での学習も含める。	18	3.02	18	2.91	18	2.77	29.2%	29.2%	58.3%	29.2%	12.5%	41.7%	
		毎日、自主学習ノートに取り組んでいる。	3	3.63	2	3.65	2	3.70	77.3%	17.5%	94.8%	4.1%	1.0%	5.2%	
保護者	「確かな学力」	授業でわからないことは、休み時間、放課後の学習会などを通して、先生がていねいに教えてくれる。	14	3.27	14	3.33	17	3.06	29.9%	42.3%	72.2%	22.7%	5.2%	17.8%	
		学校は、授業を工夫し、分かりやすい授業をしている。	13	3.19	11	3.21	13	3.14	27.7%	59.6%	87.2%	11.7%	1.1%	19.8%	
		学校は、ペア学習やグループ学習などの話し合う活動を授業に取り入れ、学習内容がよく理解できるようにしている。	10	3.26	8	3.31	10	3.23	33.0%	57.4%	90.4%	8.5%	1.1%	9.6%	
		お子様は、平日(月～金)、学校が目指している各学年の時間(1年生1時間45分以上、2年生2時間以上、3年生2時間15分以上)、家庭学習ができています。※塾での学習も含める。	18	2.75	18	2.69	18	2.60	13.7%	43.2%	56.8%	30.5%	12.6%	43.2%	
		お子様は、毎日、自主学習ノートに取り組んでいる。	7	3.43	5	3.49	5	3.51	60.0%	31.6%	91.6%	7.4%	1.1%	8.6%	
学校は、授業でわからないことを、休み時間、木曜日の放課後などを通して、ていねいに教えている。	17	2.99	17	2.99	17	2.73	13.2%	52.7%	65.9%	27.5%	6.6%	34.1%			

考察

「生徒」「保護者」ともに今回も「生徒の家庭学習」に対して、十分な時間が取れていないという数値が高かった。学校側としてもその学習の定着を具体的にどう指導していくかの手立てを今後考えていく必要がある。また、「補充的な学習」に対する対応については「生徒」「保護者」とも満足しておらず、これは授業以外の時間の中で、「がんばりタイム」の活用など今後検討する余地があるものと考えられる。また、「授業に対する理解度」は「生徒」「保護者」共に若干下がっており、この点についても学校側としては真摯に受け止め、ますますの研鑽が必要である。一方、「生徒」の協同学習に対する効果、意欲については高い数値が見られ、今まで取り組んできた成果が発揮されつつある。

分野②「やさしい心」

対象	分野	質問内容	前々回 (昨年度前期)		前回 (昨年度後期)		(令和元年度前期)								
			指数 順位	平均 指数	指数 順位	平均 指数	指数 順位	平均 指数	% (4)		あてはまる あてはまらない	% (2)		% (1)	あなた は ま い
									あてはまる			あてはまらない			
									よく	少し	あまり	まったく			
生徒	「やさしい心」	「いじめ」を受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する。	6	3.51	10	3.40	6	3.55	63.9%	28.9%	92.8%	4.1%	3.1%	7.2%	
		道徳の時間にしっかり考えることができている。	5	3.53	5	3.49	1	3.75	80.4%	14.4%	94.8%	5.2%	0.0%	5.2%	
		自分は「丹波篠山」が好きで、誇りを持っている。	9	3.39	12	3.37	8	3.47	56.7%	34.0%	90.7%	9.3%	0.0%	9.3%	
保護者	「やさしい心」	お子様は、「いじめ」を受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する。	12	3.31	15	3.09	11	3.23	39.6%	45.6%	85.4%	11.5%	3.1%	14.6%	
		お子様は、人が困っていたら、進んで助けたり手伝ったりすることができる。	11	3.25	9	3.25	8	3.33	38.5%	55.2%	93.8%	6.2%	0.0%	6.2%	
		お子様は、生まれ育った「丹波篠山」が好きで、誇りを持っている。	14	3.12	13	3.13	15	3.01	24.0%	55.2%	79.2%	18.8%	2.1%	20.8%	

考察

この分野ではほとんどの項目で前回は上回り、大きく問題となるような項目は見受けられないが、以前から課題である「郷土愛」については今回、「生徒」に関しては若干上回ったものの、「保護者」ともに過去3回の中では最も低い値を示した。いろいろな場面で学校側も「郷土愛」への働きかけを具体的に考え、更なる充実を目指して取り組んでいかなければいけない。

### 分野③「たくましい心と体」

対象	分野	質問内容	前々回 (昨年度前期)		前回 (昨年度後期)		(令和元年度前期)							
			指数 順位	平均 指数	指数 順位	平均 指数	指数 順位	平均 指数	% (4)	% (3)	あ て は ま る	% (2)	% (1)	あ な て は ま い
									あてはまる			あ ま り	ま った く	
									よく	少し				
生  徒	「たくましい心と体」	自分にはよいところがある。	17	3.00	16	3.07	16	3.07	33.0%	44.3%	77.3%	18.6%	4.1%	32.7%
		学校に行くのが楽しい。	10	3.27	6	3.48	12	3.29	43.3%	46.4%	89.7%	6.2%	4.1%	10.3%
		先生は悩みや思いをしっかりと聞いてくれる。	8	3.41	13	3.35	13	3.29	45.4%	41.2%	86.6%	10.3%	3.1%	13.4%
		家庭内や地域の中で、よくあいさつをしている。	1	3.67	3	3.58	5	3.64	71.1%	23.7%	94.8%	3.1%	2.1%	5.2%
		学校内や登下校中、安全に気をつけている。	4	3.61	4	3.57	4	3.67	71.1%	25.8%	96.9%	2.1%	1.0%	3.1%
		社会のルールや学校の生活の心得を意識して生活をしている。	13	3.30	11	3.37	9	3.46	54.6%	37.1%	91.8%	7.2%	1.0%	8.2%
		家庭内では親子でよく話している。	11	3.34	8	3.44	10	3.41	54.6%	33.0%	87.6%	10.3%	2.1%	12.4%
		(部活動)に入部している生徒に尋ねます。入部していない生徒は空白で結構です。部活動に意欲的に取り組んでいる。	2	3.64	1	3.71	3	3.70	72.2%	24.7%	96.9%	3.1%	0.0%	3.1%
保  護  者	「たくましい心と体」	情報機器(自分や家族の携帯・スマホ・コンピュータなど)の使い方について、家庭で約束を決められており、守っている。	15	3.23	17	3.04	14	3.18	43.3%	34.0%	77.3%	18.6%	4.1%	22.7%
		お子様は、学校に楽しく行っている。	4	3.53	4	3.50	3	3.53	63.5%	29.2%	92.7%	6.3%	1.0%	7.3%
		学校は、子どもの悩みや思いをしっかりと聞いてくれる。	15	3.11	16	3.04	16	2.98	21.3%	58.5%	79.8%	17.0%	3.2%	10.2%
		お子様は、家庭や地域の中でよくあいさつをしている。	6	3.47	7	3.39	6	3.50	56.8%	38.9%	95.8%	2.1%	2.1%	4.2%
		お子様は、登下校中など、安全に気をつけている。	2	3.59	3	3.51	2	3.56	58.9%	38.9%	97.8%	2.1%	0.0%	2.1%
		お子様に社会のルールを身につけさせようとしている。	3	3.68	2	3.53	4	3.54	55.2%	43.8%	99.0%	1.0%	0.0%	1.0%
		家庭内で親子でよく話している。	5	3.60	6	3.39	7	3.44	53.1%	37.5%	90.6%	8.3%	1.0%	9.4%
		お子様が部活動に入部している方にあずねます。お子様は、部活動に意欲的に取り組んでいる。	1	3.76	1	3.68	1	3.63	71.9%	20.8%	92.7%	5.2%	2.1%	7.3%
情報機器(子ども本人のもの、家族のもの、一般的なもの)の使い方について、家庭で約束を決め、お子様に守らせている。	16	2.98	14	3.10	14	3.01	28.4%	47.4%	75.8%	20.0%	4.2%	24.2%		

#### 考察

「学校に行くのが楽しい」の項目が「保護者」は今回を含めて過去3回の中で最も高い値を示しているが、「生徒」は逆に最も低くなっている。また、学校側が「生徒の悩みや思いを受け止めているか」という項目については「生徒」「保護者」ともその数値は下がっており、特に「保護者」においては今回初めて平均3.00を下回る値を示した。学校側としては今後の対応を慎重かつ丁寧に、そして、何より本当の意味で「生徒に寄り添う」指導の追求が必要である。また、情報機器の取り扱いに対する家庭内でのルール作りについて「生徒」については様々な取り組みの成果が出て上昇しているが、「保護者」については下降傾向にある。今後家庭での話し合いの場をもうけてもらうような働きかけや生徒自身から発信される家庭でのよりよい使い方の実行が改善へのカギとなる。

### 分野④「連携・協働」

対象	分野	質問内容	前々回 (昨年度前期)		前回 (昨年度後期)		(令和元年度前期)							
			指数 順位	平均 指数	指数 順位	平均 指数	指数 順位	平均 指数	% (4)	% (3)	あ て は ま る	% (2)	% (1)	あ な て は ま い
									あてはまる			あ ま り	ま った く	
									よく	少し				
保 護 者	「連携・協働」	学校だより、学級だより、保健だより、ホームページなどを通して、学校の様子がよく分かる。	8	3.38	10	3.23	9	3.27	35.8%	55.8%	91.6%	8.4%	0.0%	8.4%
		学校は、保護者や地域の意見を真摯に受け止め、連携を積極的に進めている。	9	3.28	12	3.17	12	3.17	31.9%	56.4%	88.3%	9.6%	2.1%	11.7%

#### 考察

この分野については概ね良好な値が示されている。今後も継続した活動を続けていきたい。ただし、連携について十分ではないという回答があることも真摯に受け止めていかなければならない。